

## 一般質問通告一覧表

令和3年9月14日（火）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
1	西村良一	35分	<b>消防団員の確保について</b> 地域の防災力を維持するためには、防災活動に従事する消防団員の確保が重要と考えている。消防団員確保に対する市長の見解を問う。	市長 消防長	9:30
2	林哲也	70分	<b>新型コロナウイルス感染症対策について</b> 新型コロナウイルス感染症は、東京を中心に全国に急拡大し、各地で医療が逼迫し、救える命が救えない事態となっている。新型コロナウイルス感染症の「第5波」は50代以下の中老年、若年層で感染が拡大しているが、今後のワクチン接種の見通しや病床確保等、市民のいのちと生活を守るための具体的な対策を問う。	市長 部課長	10:20
			<b>天井山風力発電事業（仮称）について</b> 再生可能エネルギーを手がけるジャパン・リニューアブル・エナジー（株）は、長門市と美祢市の境にある天井山などの稜線沿いに、総出力5万400～6万3,000キロワットの風力発電所の建設計画（4,200～5,500キロワット×17基）を進めており、2024年4月着工、2027年11月の運転開始を予定している。この事業に対し、市民のいのちと生活を守る立場から、市はどのように関わっていく考えなのか。	市長 部課長	
3	ひさなが 信也	70分	<b>長門市駅南口のまちづくりについて</b> 旧ウェーブを含む長門市駅南口のまちづくりについては市民の関心も非常に高い。跡地利用に関しては民間事業者同士のことはあるが、その件を含めた周辺のまちづくりについて市長の考えを問う。	市長 部課長	13:00
			<b>コロナ禍における経済対策について</b> 終わりの見えない新型コロナウイルスの影響により、市内経済は疲弊していると考えられる。現在の市内の経済状況について市長の認識を問う。	市長 部課長	
4	米弥又由	30分	<b>防災対策について</b> 近年、全国各地で大雨による土砂災害や洪水が多く発生している。本市は、幸いにも大規模な災害はここ数年発生していないが、気候変動等により今までに経験したことのない豪雨等がいつ本市に襲い掛かってもおかしくない状況である。 そこで、主に市民に関係するソフト面における防災対策の現状と課題及び今後の取り組みについて問う。	市長 部課長	14:25
5	岩藤睦子	50分	<b>地域公共交通網の再構築について</b> 市長が令和3年度の施政方針で掲げられた「交通弱者対策と買い物支援」については着々と事業が進められているが、周知不足のため市民や事業者からは事業内容や目的がきちんと理解されていないと思われる声が聞かれる。 「地域公共交通の再構築」については、令和5年度から新たな全市公共交通体系のスタートを目指すとしているが、改めて地域公共交通の再編のあり方と進捗状況について尋ねる。	市長 部課長	15:10

## 一般質問通告一覧表

令和3年9月15日（水）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
6	重廣正美	40分	<p><b>放課後・長期休暇の児童の居場所づくりについて</b> 現在本市において、児童クラブや放課後子ども教室の事業が展開されている。核家族化が進んでおり、共稼ぎ家庭やひとり親家庭にとってなくてはならない事業であり、10年、20年と継続していただきたいと考えている。 そこで、この事業の課題・問題点をどう捉えているのか。また、事業継続のためには何が必要であるか市長に伺う。</p>	市長 教育長 部課長	9:30
7	綾城美佳	50分	<p><b>観光によるまちづくりについて</b> 湯本温泉街の魅力ある温泉街の形成に向けて、現在、外湯、食べ歩き、文化体験、そぞろ歩き、絵になる場所、休む、たたずむ空間の6つの要素を表現していくこととしており、現在、コロナ禍で厳しいなかではあるが、さまざまな取り組みも行われ、観光客が訪れている。そういったなかにおいて湯本温泉の現状と課題について問う。</p>	市長 部課長	10:25
8	江原健二	40分	<p><b>職員の人材育成について</b> 本市では、職員一人ひとりに対し、効率的な行政運営や経営感覚を身につけ、組織目標の達成に貢献できる職員を育てることを目的として、「長門市人材育成基本方針」が策定されている。 今日、社会経済の情勢や少子高齢化、高度情報化、特に市民ニーズの多様化等が大きく変化しつつある。これからますます厳しい変革の時代が予想されることから、本市において、市職員一人ひとりの能力や資質の向上を図り、これからの長門市を支える人材育成が最重要課題であり、経験年数に応じて専門性を身に付け、意欲を持って積極的に仕事ができる職員養成が必要であると考えている。 そこで、市長としてどのような職員像を描き、それに向けてどのように人材育成に取り組まれるのか尋ねる。</p>	市長 部課長	11:30
9	田村 大治郎	70分	<p><b>情報の取扱いを中心としたコロナ対策の現状と今後について</b> 全国的に新型コロナウイルスが従来株から感染力の強いデルタ株に置き換わり、市民に恐怖と不安が広がっている。見えない恐怖から市民の暮らしを守り誹謗中傷被害を受ける市民の人権を擁護するために、まずは情報の適切な取扱いが必要であると考えているが市長の考えを問う。</p>	市長 教育長 部課長	13:00
			<p><b>児童生徒の文化活動における環境整備について</b> 文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことは、人々の変わらない願いである。限られた学生生活の中で文化活動を行い、学ぶ機会を充実させることが大切だと考える。児童生徒に対する本市の文化活動の考えを問う。</p>	市長 教育長 部課長	
			<p><b>湯本観光まちづくり計画の現状と今後について</b> 現在、全国人気温泉地ランキングトップ10入りを目指して計画を進める湯本温泉。第2次長門市観光基本計画の基本方針では「地場産業が活躍する、活力あるまち」「経済効果を実感できる観光振興」とある。「観光によるまちづくり」とは何か問う。</p>	市長 部課長	
10	田中千秋	60分	<p><b>新型コロナウイルス感染症の対応について</b> 新型コロナウイルスが国内で確認されて1年半以上が経過し、ウイルスは変異を繰り返し、現在主流のデルタ株は従来株とは全く違うウイルスだという専門家も少なくない。明らかにフェーズが変わろうとしているなか、市民を守るためには新たな経済対策を講じる必要があると考えているが、市長の見解を尋ねる。</p>	市長 部課長	14:25
			<p><b>文化・芸術活動の振興について</b> 第2次長門市総合計画には「文化・芸術活動の振興」に関して今後の取り組みの方向性が示されている。 長門市における取り組みの現状について尋ねる。</p>	市長 教育長 部課長	

## 一般質問通告一覧表

令和3年9月16日（木）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
11	重村法弘	60分	<b>農業分野における諸課題について</b> (1) 道路交通法改正に伴う作業機付トラクターの公道走行について (2) 小動物による農作物被害の現状と対策について	市長 部課長	9:30
			<b>俵山地区の振興について</b> 2019年9月、山陰道の一部となる長門・俵山道路が供用開始され、はや2年が経過した。 今後、俵山小原から下関西市への山陰道延伸や、木屋川ダム嵩上げ事業等、これからの10年は、俵山地域の未来にとって大切な事業が行われようとしている。 市長の事業に対する認識と、地域の振興プランについて尋ねる。	市長 部課長	
12	吉津弘之	50分	<b>本市の子育て環境について</b> 全国に誇れる魅力ある長門市の創生に向け、若い世代の人たちが、地域に関心と愛着を持ち、長門市に住み続け、家族を増やし、誰もが安心して子育てができる環境の整備が必要だと考える。整備を進める上での課題や施策について尋ねる。	市長 部課長	10:45
13	早川文乃	50分	<b>相談支援体制の充実について</b> 本年3月に策定された「第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画」の基本理念である「障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現」のためには、いち早く障害に気づき、早期に支援することが障害者のその後の生活にとって重要と考える。乳幼児の障害の相談支援体制の現状と課題について問う。	市長 部課長	13:00
14	上田啓二	40分	<b>危険ため池及び防災重点ため池整備事業の進捗状況と今後の計画について</b> 防災、減災が大いに叫ばれている昨今、長門市が平成24年度に策定した「新ため池整備計画」が間もなく10年を迎えている。この間の事業の進捗状況及び今後の計画について尋ねる。	市長 部課長	14:05
15	松岡秀樹	40分	<b>人口減少の中で文化と景観を維持するための持続可能な仕組みづくりについて</b> 人口減少により産業が縮退して生活環境も悪化すると、守られてきた文化や景観も失われてしまう。油谷地域の棚田事業をモデルとした長門市の文化と景観を維持するための持続可能な仕組みづくりについて問う。	市長 部課長	15:00